

滋賀県代協とDRPが共催 「びわ湖外来魚駆除釣り大会」



滋賀県代協(大谷和之会長)は9月4日、自動車板金工場のDRPネットワーク滋賀支部との共催で「びわ湖外来魚駆除釣り大会」を開催した。この大会は、滋賀県が生態系維持のため、琵琶湖の釣り客らに呼びかけているブラックバスやブルーギルなど外来魚の回収に協力するもの。

場所は滋賀県草津市志那町の湖岸道路沿い「P志那2」で、滋賀県代協会員、スタッフ、保険会社社員、京都代協・奈良県代協の会員とその家族や従業員、スペシャルオリンピックスの人たちなど総勢224名が参加した。

当日は天候に恵まれ、汗ばむほどの暑さの中、参加者たちは午前11時から約2時間半、ミミズをえさに5〜36センチほどの大きさのブラックバスやブルーギルなどを次々釣り上げ、釣りの間にカレイライスが配られた。

また、受付時に、参加者に「緑の募金」を呼びかけ、集まった4万4256円は、公益財団法人滋賀県緑化推進会に寄贈。